

施策評価調書(5年度実績)

				施策コード	Ⅲ-2-(1)		
政策体系	施策名	芸術文化の創造	所管部局名	企画振興部		長期総合計画頁	137
	政策名	芸術文化による創造県おいたの推進	関係部局名	企画振興部、教育庁			

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	多彩で優れた芸術文化に触れる機会の提供	県立美術館における鑑賞・創作機会の提供	県民参加による芸術文化活動の推進と芸術文化を創造し支える人づくり	次代の芸術文化の担い手づくり

【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		5年度			6年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i	県立美術館入場者数(万人)	①② ③④	H26	—	50	51	102.0%	50					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	県立美術館では、「朝倉文夫生誕140周年記念展」や「住友コレクション名品選」など国内外の著名な美術品を鑑賞できる企画展や、企画展と関連した親子で参加するワークショップなどの様々なイベントを展開することにより、目標を達成することができた。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・アルゲリッチ音楽祭は県立総合文化センター改修工事のためホルトホール大分での公演を含む全9公演で延べ4,518人が参加し、世界最高峰のクラシック音楽の鑑賞機会を提供した。 ・大分アジア彫刻展は公募年であり、前回を超える209点の応募があった。また、大分空港やJR大分シティなど県内6か所で紹介展を開催し、芸術文化に触れる機会を提供した。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・県内13市町村の24校が、県立美術館における鑑賞授業を実施し、小学生835人が参加した。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマネジメント人材育成を目的とした講座を4回開講した。 ・事業活動における芸術文化の活用を進めるため5件の支援を行った。 ・中国・韓国との文化交流を促進するため補助事業により7件、文化庁委託事業により3件の支援を行い、「2022東アジア文化都市共同宣言」に基づく中韓交流を継続した。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・県内高校生による絵画作品の展示を大分市内中心部商店街(ガレリア竹町、セントポルタ中央町)、大分県立美術館、わさだタウン、ウサノピア、臼杵市観光交流プラザ、さいき城山桜ホールで開催し、こどもたちの発表機会とともに、多くの方が気軽に芸術に触れる機会を創出した。(延べ51校から207点を出品)

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(5年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①③	芸術文化活用交流促進事業	120.0	338
①	国際芸術文化振興事業	90.4	338
②	芸術文化ゾーン拠点創出事業	103.0	342
③	芸術文化による地域おこし事業	228.7	343
④	未来の芸術文化担い手育成事業	100.0	339

【VI. 施策に対する意見・提言】

OR5年第1回大分県文化振興県民会議(R5.9)
 ・文化振興に関しては持続可能な仕組みが必要。事業が終わったとしても継続できるようにアートマネジメント人材が育っていくような取組を期待している。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台装置などが機能向上した県立総合文化センターでの芸術性やオリジナリティの高い公演、県立美術館での多彩な企画展の開催など芸術文化に触れる機会の充実を図る。 ・県立美術館における主要作品のデジタルコンテンツ化や、これまで積み重ねてきたアルゲリッチのコンサート映像のアーカイブ化など鑑賞機会の充実を図る。 ・別府アルゲリッチ音楽祭や大分アジア彫刻展など世界レベルの芸術文化に触れる機会を提供するとともに、混浴温泉世界など地域における特色ある芸術文化活動を支援し、芸術文化を活かした地域づくりを推進する。 ・芸術文化を発表する場づくりや児童生徒に対する芸術文化の鑑賞・体験機会の充実など、次代の芸術文化の担い手づくりを進める。 ・県内各地域でのミニコンサートや出張展示会等のアートイベントの開催など県民が芸術文化に気軽に触れる機会を提供するほか、芸術文化の発信力や創造力を観光振興や地域の活性化に活かしていく取組を進める。 ・中国、韓国との草の根交流を継続するとともに、芸術文化の作り手と受け手をつなぎ、発展させるために不可欠なアートマネジメント人材の育成を推進する。 ・県立美術館において、こどもたちの主体的な鑑賞の機会の充実を図るとともに、教員の指導力向上に向けて本物の作品を使ったガイド実践を行う。また、事後実践の好事例をHPで発信する。 ・シンボルアート制作や県内学生による芸術作品展示を行い、障がいの有無に関わらない発表機会の創出や芸術文化への関心を高める取組を進める。 ・文化活動を通じた特別支援学校と高校の交流や県内の児童・生徒による芸術作品展示を行い、障がいの有無に関わらない発表機会の創出や芸術文化への関心を高める取組を進める。